



2025 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 双 葉 電 子 工 業 株 式 会 社
代 表 者 代 表 取 締 役 有 馬 資 明
社 長 執 行 役 員
(コード番号 6986 東証プライム)
問 合 せ 先 執 行 役 員 石 川 浩 士
業 務 管 理 本 部 長
T E L 0 4 7 5 (2 4) 1 1 1 1

通期連結業績予想と実績との差異および営業外費用の計上に関するお知らせ

2024 年 11 月 11 日に公表いたしました 2025 年 3 月期の通期連結業績予想数値と本日公表の実績数値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、営業外費用の計上について、併せてお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想数値と実績数値との差異について

(1) 2025 年 3 月期通期連結業績予想数値と実績数値との差異 (2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	50,000	△1,100	△500	△900	△21.22
実績値 (B)	48,116	△1,292	△206	△281	△6.63
増減額 (B－A)	△1,883	△192	293	618	－
増減率 (%)	△3.8	－	－	－	－
(ご参考)前期実績 (C) (2024 年 3 月期)	56,360	△1,141	570	△1,854	△43.71
増減額 (B－C)	△8,243	△150	△777	1,572	－
増減率 (%)	△14.6	－	－	－	－

(2) 差異の理由

【経常利益の増加要因】

構造改革によるコスト削減効果や、全社での更なるコスト統制強化もあったものの、減収に加え、フィリピン子会社の退職年金資産の未認識数理計算上の差異を一括費用計上したことにより営業利益の赤字幅が拡大しました。一方、第3四半期連結会計期間以降の為替レートが当社想定 of 1 米ドルあたり 145 円に対して 151 円と円安となり為替差損が大きく減少したことなどから、経常利益は前回予想値を上回る結果となりました。

【親会社株主に帰属する当期純利益の増加要因】

経常利益の赤字幅が縮小し、減損損失の計上額も想定より減少したことに加え、固定資産売却益の計上額が想定より増加したことなどから、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想値を上回る結果となりました。

2. 営業外費用の内容

2025年3月期第3四半期連結累計期間において、為替差益312百万円を計上しておりましたが、その後の為替相場の変動により当第4四半期連結会計期間において、為替差損356百万円を計上いたしました。その結果、当連結会計年度において、為替差損44百万円を営業外費用に計上いたしました。

以 上